

在マレーシア日本国大使館付属ジョホール日本人学校
学 校 長 挨 拶



ジョホール日本人学校へようこそ

校長 角 保宏

「ジョホール・バル」って聞いたことありますか。知らない方が多いかと思いますが、「ジョホール・バルの歓喜」といえば、昔からのサッカーファンであればきっと思い出されることでしょう。そのジョホール・バルはマレー半島最南端にあり、わずか1Km 余りの海峡を挟んでシンガポールと向かい合っているマレーシア第2の都市といえば、分かって頂けると思います。

日本サッカー代表がワールドカップに初めて出場を決めたイラン戦が行われた1997年（平成9年）4月、本校はここジョホール・バルの地に開校しました。今年は学校創立23年目の年を迎えました。平成31年4月8日現在、小学部49名、中学部9名、計58名の子供たちがジョホール日本人学校で学んでいます。子供一人ひとりの個性を最大限に伸ばし、「日本版21世紀型スキル」をはぐくむとともに、国際社会に有用とされるグローバル人材の育成を学校教育目標に、『魅力があり、信頼できる学校づくり』をめざしていくために、教職員全員の英知と熱意を結集して弛まぬ努力を続けて教育活動に取り組んでいます。

日本人学校の子供たちは素直で優しいとよく言われます。本校の子供たちも素直でやさしく、中学生と小学生も仲が良く、特に中学生はいろいろな場面でリーダーシップを発揮し、学校の中心として行事等を盛り上げています。

行事といえば、1学期に行われる運動会と2学期に行われるペスタクラパは本校の2大行事です。運動会は暑い中の開催ですが、子供たちは委員会を中心に運営や進行を担当しながら競技にも全力で取り組んでいます。特に小学部5年以上と中学部で踊る「よさこいソーラン」は、中学部3年生がリーダーとなり小学部高学年と創り上げている本校の伝統の一つです。

ペスタクラパ（文化祭、学習発表会）は、小学部1年生から中学部3年生までがクラスごとに劇や学習発表、また全体合唱などを披露しています。保護者の方もほとんどが見に来られ、子供たちの力演に最後まで大きな拍手をいただいています。また、近隣の現地校との交流にも力を入れ、現地の人々や文化を知る取り組みも行っています。

多くの保護者が期待されている英会話授業も習熟度別に分けた3つのグループを3人のマレー人講師が週2～3時間実施しています。少人数での指導を行っているので英語に触れる機会も多く、楽しく英語を学習しています。本校には放課後の部活動やクラブ活動が週2～3回あり、子供たちは楽しみながら運動しています。

以上、本校のことについてご紹介いたしました。入学を希望されている方は、ご遠慮なくご連絡ください。